

社会科学学習指導案

東広島市立寺西小学校 教諭 秦 洋司

1 学 年 第5学年

2 単元名 わたしたちの暮らしを支える情報「情報化社会を生きる」

3 単元設定の理由

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領の社会第5学年の内容（4）「我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。」の「イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」を受けて設定している。

ここでは、情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりとして、情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている医療や防災の事例を取り上げる。具体的には、児童の住む東広島市にある病院や広島県や東広島市の情報ネットワークについて調べていく。単元の流れとしては、医療の情報ネットワークの学習で身に付けた社会的な見方や考え方をを用いて、防災に関する情報ネットワークを考察していく。そのことにより、社会的見方や考え方を深めることができると考える。

また、児童の身近な事例を取り上げるため、児童が主体的に調べたり、考えたりすることが可能となる。そのため、これまでの知識や資料から読み取ったことを基に学習問題を設定し、インターネットや資料等を活用して、病院や行政（広島県や東広島市）の工夫や努力について考えるという問題解決的な学習の過程に沿って授業を展開できる単元である。

○児童観

本学級の児童は、社会的事象を観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりして、社会的事象について考える学習に継続して取り組んでいる。前単元「工業の発達とわたしたちの暮らし」の学習における単元末テストの結果では、95%以上の児童がおおむね理解できている状況であったことから、本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組み、社会的事象に対する知識も定着してきていると言える。

一方で、思考・判断・表現の観点の評価について、ノートなどに書かれている児童の記述内容を分析すると、社会的事象を比較したり関連付けたり総合したりして書いた記述が少なく、社会的事象の意味について考える力は十分に育っているとはいえない状況である。

○指導観

指導にあたっては、問題の発見から追究、解決に至る問題解決的な学習を取り入れ、主体的に学習に取り組ませる中で、社会的な見方や考え方を身に付けさせたい。そして、身に付けた見方や考え方をを用いて、別の事例を取り上げ、比較・関連付け・総合しながら再構成する学習を行う中で、社会的な見方や考え方を深めていきたい。

具体的には、児童の身の回りにある情報ネットワークを取り上げ、知っていることを発表したり資料を読み取ったりすることを手掛かりとして、追究していくことができる学習問題を設定する。そして、インターネットや資料等を活用した調べ学習を通して、医療や防災の情報ネットワークについて具体的にイメージができるようにする。その上で、医療ネットワークを取り上げ、習得した知識を活用した話し合い活動を行い、社会的な見方や考え方を養っていく。その後、身に付けた社会的な見方や考え方をを用いて、別の社会的事象である防災ネットワークについて考察する中で、社会的な見方や考え方を深めていく。

4 小単元の目標

身の回りにある情報ネットワークの利便性を考えることを通して、情報化の進展は、国民生活の向上に大きな影響を及ぼしていること、そして、私たちは、様々な情報を有効に活用しながら生活する必要があることを理解することができる。

5 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象に についての知識・理解
情報化した社会の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	情報化した社会の様子について、学習問題や学習計画を考え表現している。 情報化の進展が国民生活の向上に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効活用が大切であることを考え、適切に表現している。	情報化した社会の様子について、資料やインターネットを活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	情報化の進展は国民生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを理解している。

6 学習指導計画（全6時間）

過程	時	学習活動	評価規準（評価方法）
問題の把握	1	普段の生活や教科書の挿絵から、自分たちの暮らしの中で、情報をどのように活用しているのかを調べる。	自分たちの身の回りでは、情報をどのように活用しているのかについて意欲的に調べようとしている。 （発言、ノート） 【関心・意欲・態度】
	2	身近にある情報ネットワークについて調べる中で、情報ネットワークに興味をもち、学習問題をつくり、学習計画を立てる。	学習問題をつくり、調べる計画を考えている。 （発言、ノート） 【思考・判断・表現】
学習問題の追究	3	自分たちの暮らしの中で、情報ネットワークがどのように活用されているのかについて、資料やインターネットを用いて調べる。	資料やインターネットを活用して、情報ネットワークについて調べている。 （ノート） 【技能】
学習問題の解決	4	病院内の情報ネットワークについて調べ、電子カルテの利便性について考える。 【本時（1）】	〇〇病院では、効率的で、分かりやすい診察をするために、電子カルテを活用していることについて考えている。 （発言、ノート） 【思考・判断・表現】
	5	病院とその他の関係機関の情報ネットワークについて調べ、医療ネットワークの利便性について考える。	広島県では、県内全域で、質の高い治療していくために、大きな病院を中心に医療ネットワークをつくり、情報を共有していることについて考えている。 （発言、ノート） 【思考・判断・表現】
学習のまとめと発展	6	医療の情報ネットワークで学んだことを基に、防災や災害に関する情報ネットワークの利便性について考える。 【本時（2）】	東広島市の取組や災害の発生状況を踏まえて、自分たちがどのように情報ネットワークを活用していけばよいのかについて考えている。 （発言、ノート） 【思考・判断・表現】

7 授業の展開

(1) 第4時

本時の目標 資料を基に話し合うことを通して、病院では少ない人数でよりよい治療をするために電子カルテを導入していることを考えることができる。【思考・判断・表現】

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1. 電子カルテとはどのようなものなのかを知る。	○児童が調べた身近にある情報ネットワークの中から、病院現場で使われている情報ネットワークを取り上げる。 ○電子カルテを提示し、紙カルテと比較しながら、電子カルテの良さについて紹介する。 ○電子カルテのシステムを導入するために、多くの費用がかかること、それを導入している病院が身近にあることを知らせ、本時の学習課題につなげる。	
学習課題 電子カルテを導入するには多くの費用がかかるのに、なぜ、〇〇病院では、電子カルテを導入しているのだろうか。		
2. 学習課題に対する自分の考えを書く。		
3. 電子カルテを導入するメリットについて、資料から調べ、話し合う。	○電子カルテを導入することのメリットを、VTRや自作資料から考えさせる。 ○児童の意見を、働く側と患者側の視点で整理して板書する。	
4. 「価格や費用」の視点で考え、話し合う。	○「価格や費用」の視点から、電子カルテの導入の理由について考えさせる。 このようなメリットがあるが、本当に〇〇円もかけて行う必要があるのだろうか。 ○全国や広島県において医師不足が課題となっていることを示す資料から、医師不足などの課題がある中で、少ない人数でよりよい治療を行おうとする病院側の工夫や努力を捉えさせる。	
5. 学習課題に対する自分の考えをまとめる。	〇〇病院では、少ない人数でよりよい治療を行うために電子カルテを導入していることが分かりました。 私たちも、画像などを見ながら医者の説明を受けることができるので安心して治療を受けることができているなと思いました。	病院では、少ない人数でよりよい治療を行うために、電子カルテを導入していることを考えている。 (発言、ノート)

(2) 第6時

本時の目標 東広島市の取組や被災した場合のデメリットを踏まえて、自分たちがどのように情報ネットワークを活用していけばよいのかについて考えることができる。【思考・判断・表現】

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1. 防災ネットワークについて知る。	○前時までに学習した医療分野における情報ネットワークについて振り返り，東日本大震災時の茨城県大洗町の写真から，災害時の情報ネットワークについて考えさせる。 このような災害が起きた時にも，情報ネットワークが活用されているのだろうか。	
2. 東広島市の防災ネットワークについて知る。	○茨城県大洗町を事例として取り上げ，防災行政無線の仕組みや良さについて紹介する。 ○緊急告知ラジオを提示し，東広島市が新しいシステムとして，FM放送を活用したシステムを導入したことを紹介する。	
学習課題 なぜ，東広島市では，今までの防災行政無線を廃止し，新しいシステムを導入したのだろうか。		
3. 学習課題に対する自分の考えを書く。		
4. 東広島市の防災ネットワークについて，資料から調べ，話し合う。	○新旧のシステムを比較し，新しいシステムのメリットやデメリットを捉えさせる。 ○「価格や費用」の視点を取り上げ，東広島市がコストも考えながら，市民の安全な生活を守るために工夫や努力をしていることを捉えさせる。	
5. 防災ネットワークをどのように活用していけばよいのかについて話し合う。	○緊急告知ラジオの良さを紹介し，普及率の低さを伝える。 なぜ，緊急告知ラジオの普及率が低いのだろうか。 ○東広島市で，緊急告知ラジオの普及率が低い理由について考えさせる。 ○大洗町の事例を再度取り上げ，被災した場合のデメリットについて考えさせる。 ○地域に住む一員として，自分たちがどのように情報活用していけばよいのかを考えさせる。 私たちは，どのように防災ネットワークを活用すればよいのだろうか。	

6. 学習課題に対する自分の考えをまとめる。	東広島市では、どこでも、すぐに避難できるように新しい防災ネットワークがつくられた。 しかし、災害はいつ起こるか分からない。私たちは、自分の命を自分で守るために、情報ネットワークを活用して必要な情報を得ることができるように日頃から準備をしなければならない。	東広島市の取組や被災した場合のデメリット等を踏まえて、自分たちがどのように情報ネットワークを活用していけばよいのかについて考えている。 (発言、ノート)
-------------------------------	---	---